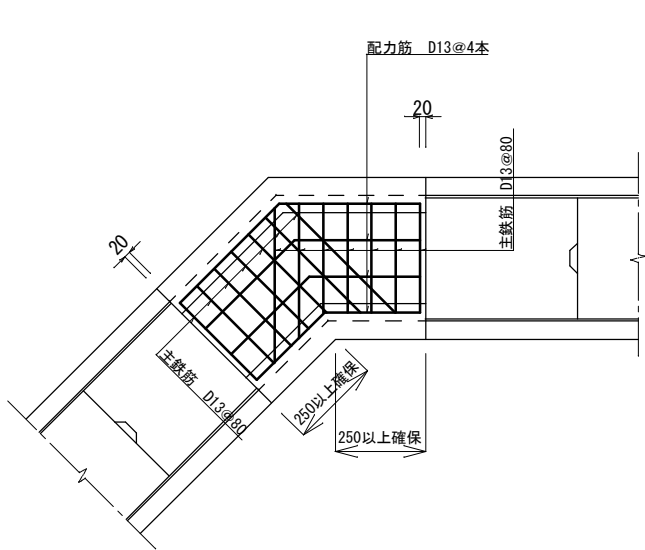


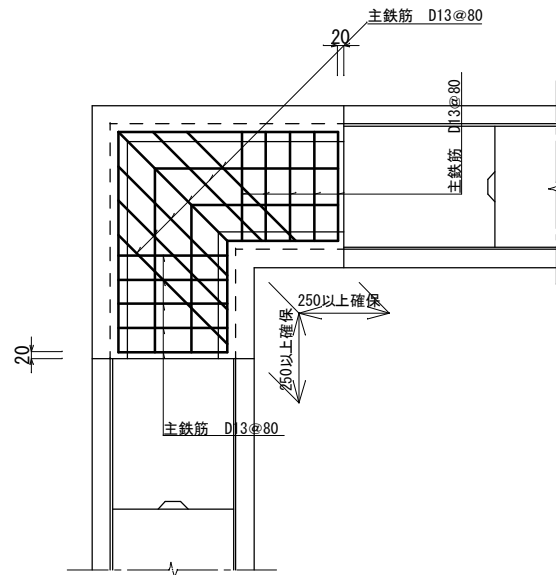
# 現場打溝蓋構造図

S=1:25

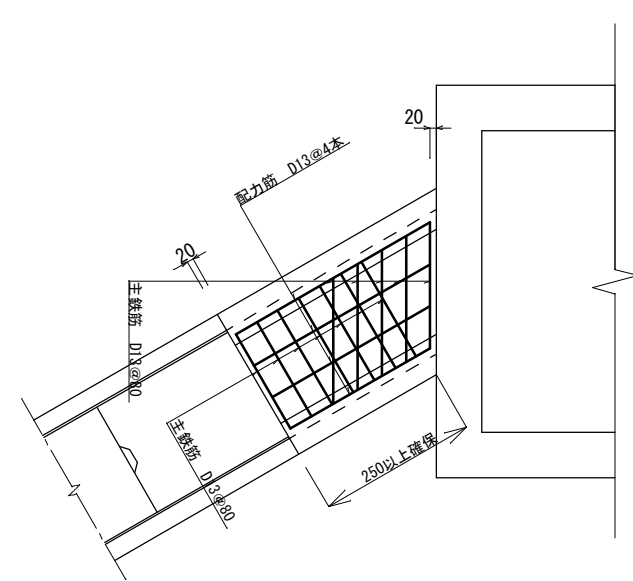
## 屈曲部溝蓋構造図



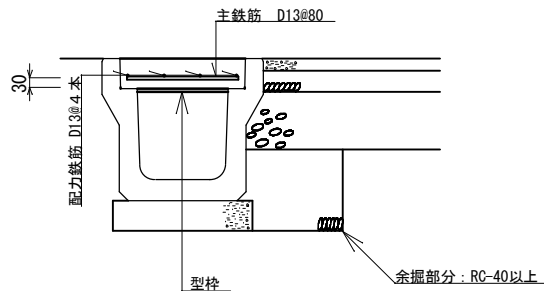
## 直交部溝蓋構造図



## 集水桟接合部溝蓋構造図



## 標準断面図



### 特記事項

1. 型枠については、養生後撤去を行うこと。なお、底面に埋設型型枠を使用する場合には、この限りではない。
2. 使用するコンクリートの強度については、24 (KN/mm<sup>2</sup>) とする。また骨材の最大粒径は、25 (mm) とする。なお、使用する鉄筋規格は「SD345」を標準とする。
3. 鉄筋の組み立てについては、主鉄筋及び配力鉄筋の組み立てを上下反転しないように注意して組み立てること。なお、組み立てが完了した段階で鉄筋の組み立て状況が判断できるように写真管理を行うこと。
4. 側溝敷設に際しての余掘について、道路側となる部分については、再生砕石RC-40と同等以上の材料で埋戻を行うこと。また、埋戻の施工状況がわかるように写真管理を行うこと。
5. 本構造図については、落蓋式側溝 (300×300) を想定して作成している。このため、これ以上の断面の道路側溝を敷設する場合は、この限りではない。